

佳作

小斎小学校 6年 窪田 蓮夏

表題「もつとよのなかルールブック」を読んで」

書籍名『もつとよのなかルールブック』

私が「もつとよのなかルールブック」を読んで、印象に残ったこと、大事だと思ったことがあります。

印象に残ったことは、二つあります。

一つ目は、成長は「だれか」とではなく、「昨日の自分」と比べるとというルールです。自分とだれかとでは、生まれた環境もちがっているし、頭の良さもちがうので、だれかと比べても成長しないと思いました。

二つ目は、自分と同じように相手にもルールがあることを認めるというルールです。私にもルールが一つあります。あとでこうかいしないように、毎日したいことをするようにしています。もちろん、相手の「こうするべき」と自分の「こうするべき」はちがうので、相手にもルールがあるということを確認して、忘れないようにした

いです。

大事だと思ったことは、三つあります。

一つ目は、家族からはなれる日を想像するというルールです。いつかは、家族とはなれる日がやってくるのを想像するのも大事だと思います。

二つ目は、「おしゃれ」は自分のために、「身だしなみ」は相手のためというルールです。もし、かみの毛が乱れているだけで相手の気分を悪くしたりするので、おしゃれは自分のためでも、身だしなみは相手のためだと思わないといけないかなと思いました。

三つ目はまわりの人の小さな変化に気づき、伝えることです。相手がかみの毛のピンをかえたりしたら、すぐに気づいて伝えてあげたらうれしいと思います。

私は、この本を読んで、印象に残ったこと、大事だと思ったことをふり返って、成長は人に言われるより、自分で考えてどうに表したほうが成長すると思います。私が大人になったら、人にたよらずに自分でお金をかせげる人になりたいです。